

げん氣にがんばるぞ

東部小・1　すずき　かいち

ぼくがなつ休みでいちばんたのしかったことは、ぼくがならって
いるサッカーのバスえんそくです。

ぼくのおにちゃんもサッカーをやっていて、いつもいつしよで
した。だから、いつもバスえんそくはすぐたのしかったです。こ
んかい、バスえんそくのおしらせをもらったときは、すごくいきた
くて、パパに、

「はやくもうしこんで。いちばんにもうしこんで。」

と、たのしみすぎてジャンプしながらおねがいました。だけど、
おにちゃんは、サッカーのクラブチームに入ったから、バスえん
そくにいきません。パパに

「かんたはいかないよ。」

といわれて、えんそくにいくのをすこしとめられたけど、そのとき
はいきたくて

「いく。ぜったいいく。」

とおねがいました。

なつ休みになって、バスえんそくの日まで、もうすこしになりま
した。おにちゃんがいらないから、だんだんときどきしてきて、さ
みしくなりました。ママに、

「やっぱり、いきたくない。」

といいました。ママは、

「ひとりでもだいじょうぶだよ。」

とおうえんしてくれました。ぼくは、やっぱりげん氣にいくとき
めました。

バスえんそくの日になりました。やったあ、はやくいききたいなと
おもったり、ときどきしたりしました。でも、バスにのつてからは、
たのしいこうとおもいました。

サッカーじょうにつきました。かちたいなとおもってしあいをは
んばりました。でも、あい手のボールがとれなくて、いっかいもか
てませんでした。くやしかったですが、さいごまでがんばりました。

そして、こうえんにいって、おべんとうをたべて、あそびました。

ゆうぐであそんだり、おにごっこをしたりしてあそびました。おに
ごっこをしていると、とちゅうからいままでにしゃべったことがな
い子が、入ってきました。ぼくは、はずかしがりだけど、ともだち
になりました。みんなとあそべてたのしかったです。あたらしいと
もだちと、またいつしよにあそびたいです。

おにちゃんがいなくて、ときどきしていきたくなくなったとき
もあったけど、バスえんそくは、いつてみたらたのしかったです。
あのとき、げん氣にいくときめてよかったです。だから、はじめ
てでときどきしてこわくなったり、ひとりでさみしくなったりして、
やりたくないときがあるかもしれないけれど、やってみたらおもし
ろかったとおもうかもしれないので、こんどからは、げん氣にがん
ばるぞという氣もちでしようせんしたいです。